

令和2年度 社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業報告

第2期幸田町地域福祉計画・地域福祉活動計画がスタートし、基本理念「支え合い ともに生きる まちづくり（一人一人が自立し、人とつながり、お互い様をひろげよう）」の実現を目指すとともに、社会福祉協議会の社会的役割を再認識し、様々な事業活動に取り組みました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、4月には全国的に緊急事態宣言が発出される事態となりました。それに伴い外出自粛要請が出され、経済・雇用が不安化する中で人々の生活に大きな影響を及ぼしました。

そのような状況下において、本会では、感染拡大後の休業や失業により収入が減少した方を対象に、生活福祉資金及びたすけあい資金の特例貸付の申請・相談窓口としての機能を担いました。当面の生活費や生活再建までの資金が必要な方に行き渡るよう、迅速に対応しました。

各種ボランティア講座や認知症カフェ、介護予防教室等については、感染状況を鑑み、開催を見送りました。げんきかい及び認知症介護家族交流会については、感染防止対策を講じた上で、年度途中より開催しました。

外出自粛が続くことにより高齢者の閉じこもりが増え、地域における見守りの重要性が高まる中、生活支援コーディネーター業務として令和元年度より進めてきた、地区ふくし委員会の設立や高齢者見守り団体の立ち上げを支援し、地域福祉活動の推進・発展に努めました。

各種事業を推進するため、事業実施に伴う規則等の整備を進め、組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、職員の資質向上等に努めてまいりました。

1 役員会等の開催状況

(1) 理事会開催状況

令和2年度第1回理事会	
開催日 令和2年6月4日（木）	
議案番号	議案名
第1号議案	社会福祉法人幸田町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選定について
第2号議案	社会福祉法人幸田町社会福祉協議会評議員候補者の選定について
第3号議案	令和元年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業報告について
第4号議案	令和元年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支決算について
第5号議案	令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）について
第6号議案	令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会定時評議員会の招集について

令和2年度第2回理事会（決議の省略）	
決議があったものとみなされた日 令和2年11月26日（木）	
議案番号	議案名
第7号議案	社会福祉法人幸田町社会福祉協議会給与規則の一部改正について
第8号議案	令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）について
第9号議案	令和2年度第1回社会福祉法人幸田町社会福祉協議会臨時評議員会の招集について

令和2年度第3回理事会	
開催日 令和3年3月4日（木）	
議案番号	議案名
第10号議案	令和3年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業計画について
第11号議案	令和3年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支当初予算について
第12号議案	令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会3月評議員会の招集について

(2) 評議員会開催状況

令和2年度定時評議員会（決議の省略）	
決議があったものとみなされた日 令和2年6月18日（木）	
議案番号	議案名
第1号議案	令和元年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業報告について
第2号議案	令和元年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支決算について
第3号議案	令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）について

令和2年度第1回臨時評議員会（決議の省略）	
決議があったものとみなされた日 令和2年12月17日（木）	
議案番号	議案名
第4号議案	令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）について

令和2年度3月評議員会	
開催日 令和3年3月12日（金）	

議案番号	議案名
第5号議案	令和3年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業計画について
第6号議案	令和3年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支当初予算について

(3) 監査会開催状況

令和2年度監査会 開催日 令和2年5月21日(木)
監査内容
令和元年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業報告 令和元年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支決算

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日 令和2年6月11日(木)	
議案番号	議案名
第1号議案	社会福祉法人幸田町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員長の選任について
第2号議案	社会福祉法人幸田町社会福祉協議会評議員の選任について

2 令和2年度の主な取り組み

(1) 法人運営部門

ア 経営基盤の確保

自主財源や公費財源を安定的に確保し、地域に開かれた組織体制を確立できるよう、ホームページ上に財務諸表を公表しました。また、会費や共同募金配分金の使い道を広報誌やホームページ上で公開し、使途の明確化や透明性の確保に努めました。

自主財源	令和2年度	令和元年度	平成30年度
会費収入	3,386,900円	3,363,800円	3,295,500円
一般会員	9,143世帯 2,742,900円	9,100世帯 2,730,000円	9,061世帯 2,718,500円
賛助会員	91人 225,000円	81人 204,000円	75人 191,000円
特別会員	101事業所 419,000円	101事業所 429,800円	91事業所 386,000円
寄附金収入	583,963円	1,647,966円	1,916,057円

共同募金配分金収入	4,341,218 円	4,196,925 円	4,050,983 円
計	8,312,081 円	9,208,691 円	9,262,540 円

イ 職員の資質向上

職種別、サービス別の研修へ積極的に参加させるとともに、相談への対応力向上のため内部研修や勉強会を実施しました。

内 容	令和2年度	令和元年度	平成30年度
外部研修	66 回	107 回	106 回
内部研修	8 回	9 回	7 回

(2) 地域福祉活動推進部門

ア 福祉教育の推進

次世代の人材育成のため、小中高等学校における福祉教育を推進しました。コロナ禍の影響で、福祉実践教室は4校が日程を分散して実施し、青少年等ボランティア福祉体験は受け入れ先の確保が困難なため、開催を見送りました。

内 容	令和2年度	令和元年度	平成30年度
社会福祉協力校の委嘱	10 校	10 校	10 校
福祉実践教室	8 回 【実施校 4 校】	10 回 【実施校 9 校】	12 回 【実施校 9 校】
青少年等ボランティア福祉体験 学習	不開催	189 人	212 人

イ 地域でのサロンやサークル活動への支援

新型コロナウイルス感染症対策ふれあい・いきいきサロン活動活性化事業交付金の交付、非接触型体温計の貸与など、サロン参加者への感染防止策を講じ、サロン開催における活動支援や情報提供を行いました。

内 容		令和2年度	令和元年度	平成30年度
団体数		26 団体	26 団体	28 団体
サロン開催数		141 回	511 回	578 回
延べ参加者数		2,400 人	8,075 人	8,842 人
代表者研修	開催数	不開催	2 回	1 回
	延べ参加者数		73 人	27 人

ウ ボランティアセンターの機能充実

ボランティアに関する相談を随時受け付け、ボランティアを求める個人及び団体、施設

等とボランティア活動者の派遣調整を行いました。

内 容		令和2年度	令和元年度	平成30年度
ボランティア相談		14回	29回	30回
登録数	団体	37団体 【433人】	40団体 【468人】	40団体 【570人】
	個人	3人	2人	6人
ボランティア講座	開催数	不開催	1回	1回(2日間)
	延べ参加者数		5人	22人

エ 災害に対する備え

幸田町の総合防災訓練の中止に伴い、災害時ボランティア支援本部の設置訓練は中止となりました。コロナ禍により、予定していた災害時ボランティア支援本部運営スタッフ養成講座は開催を見送りました。

オ 福祉車両・福祉用具の貸出

一時的に福祉用具が必要な人への貸出や地域行事等へのレクリエーション用具の貸出を行いました。

内 容		令和2年度	令和元年度	平成30年度
福祉車両		183回	188回	141回
レクリエーション用具		18回	117回	134回
災害用物品		18回	118回	101回
福祉用具等		74回	125回	149回
福祉用具リサイクル	譲受	4件	0件	0件
	譲渡	1件	0件	0件

カ 福祉実践活動者への費用助成

ふくしの町づくり推進事業として、高齢者スポーツ指導者及び子ども支援事業の助成を行いました。

キ 福祉6団体事務局の運営、活動支援

老人クラブや障がい者団体等、各種福祉団体の事務局を運営し、地域活動の調整を行いました。また、福祉団体の自主運営化に向けて積極的に情報提供や活動内容の提案を行いました。

ク 広報活動

社協広報誌「ともに生きる」を年4回発刊しました。また、ホームページでタイムリーな情報の発信に努めました。

ケ 赤い羽根共同募金配分金の有効活用

福祉団体、サロン、保育所等へ活動費の助成を行い、団体等の活動支援及び配分金の有効活用に努めました。

コ 総合事業への取り組み

幸田町が実施する生活支援体制整備事業を推進するために生活支援コーディネーターを配置し、小学校区別ふくしネットワーク会議の開催やガイドブックの作成、情報提供等を行いました。地域福祉活動への機運が高まった一部地域に対しては、福祉委員会、学区福祉あんしん見守り隊発足に向けた支援を行いました。

(3) 福祉サービス利用支援部門

ア 地域包括支援センターの受託

地域包括ケアシステムの構築に向けて、相談支援や介護予防サービス等の支援を包括的かつ継続的に提供しました。また、介護予防・日常生活支援事業（以下「総合事業」という）における基本チェックリストの実施や介護予防ケアマネジメント業務に加え、認知症総合支援事業の一環として、認知症介護家族交流会の開催など認知症の方やその家族の支援事業を実施、普及事業及び認知症初期集中支援チーム事業について取り組みました。その他、幸田町介護サービス事業者連絡協議会の運営支援など、関係機関との連携、協議等に努めました。

令和2年度はコロナ禍により、認知症カフェ及び介護予防教室は不開催、その他の事業においては規模を縮小して開催しました。

内 容	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総合相談支援事業			
総合相談	2,379件	2,118件	1,917件
基本情報管理（実態把握件数）	282件	201件	208件
権利擁護業務	97件	204件	117件
高齢者虐待への対応	56件	46件	79件
消費者被害への対応	1件	0件	2件
成年後見制度の利用支援	12件	5件	3件
他の困難事例	28件	153件	61件

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務					
ケアマネ部会（幸介連）		3回	5回	6回	
ケアマネ支援		148件	309件	195件	
地域ケア会議		10回	7回	6回	
介護予防ケアマネジメント業務		3186件	3,128件	3,036件	
指定介護予防支援計画作成 【うち委託】		1,902件 【532件】	1,814件 【550件】	1,694件 【549件】	
介護予防ケアマネジメント 【うち委託】		1,285件 【217件】	1,314件 【250件】	1,342件 【329件】	
認知症施策の推進					
認知症介護家族 交流会	開催数	4回	11回	12回	
	延べ参加者数	11人	32人	40人	
認知症カフェ	カフェ名称	カフェまどか 喫茶ふでかき フェリシーテ	カフェまどか 喫茶ふでかき フェリシーテ	カフェまどか 喫茶ふでかき フェリシーテ	
	延べ開催数	不開催	3施設 20回	3施設 21回	
	延べ参加者数		62人	68人	
認知症初期集中 支援チーム	対象者人数	4人	延べ24人	2人	
	訪問・会議	49回	28回	13回	
一般介護予防事業					
介護・健康出前講座		開催回数	4回	27回	24回
		延べ参加者数	67人	513人	449人
介護 予 防 教 室	シニア元気 アップ教室	開催回数等	不開催	2コース 延べ24回	3コース 延べ36回
		延べ参加者数		271人	354人
	からだメンテ ナンス教室	開催回数等	不開催	2コース 延べ23回	2コース 延べ24回
		延べ参加者数		264人	281人
脳の健康 教室	開催回数等	不開催	2コース 延べ36回	2コース 延べ24回	
	延べ参加者数		257人	307人	
げんきかい		地区数	6学区	6地区	6地区
		開催数	13回	60回	66回
		延べ参加者数	194人	973人	1,316人
いきいき元気サポータ ースキルアップ研修		開催数	4回	3回	2回
		延べ参加者数	105人	80人	80人
いきいき元気サポ ーター養成講座		開催数	不開催	1回（3日間）	1回（4日間）
		延べ参加者数		48人	44人

介護予防ボランティア研修会	開催数	スキルアップ研修 1回	スキルアップ研修 1回	養成講座 1回(4日間)
	延べ参加者数	19人	21人	43人

イ 権利擁護への取り組み

愛知県社協から日常生活自立支援事業を受託し、認知症高齢者や障がいのある人に対して福祉サービスの利用支援等を行いました。また、幸田町から成年後見支援センターの運営を受託し、成年後見制度の広報・啓発や住民からの相談、関係機関との連絡調整等を実施しました。

内 容	令和2年度	令和元年度	平成30年度
日常生活自立支援事業	延べ13件	延べ13件	延べ13件
司法書士による法律困りごと相談	19件	33件	26件
成年後見支援センター事業			
相談及び手続き	48件	26件	38件
町長申立て支援	1件	0件	0件
広報・啓発活動	1件	3件	3件
親族後見等への支援	1件	1件	2件
法人後見の受任への準備体制		3件	5件
法人後見の受任	0件		
関係機関との連絡調整	9件	7件	7件
専門職団体への依頼	1件	2件	5件
当事者団体等との連絡調整	8件	5件	2件
運営委員会等の開催	3回	4回	3回

ウ 各種貸付事業の実施

生活困窮者へ一時的な生活資金の貸付を実施するとともに、民生委員・児童委員と連携しながら必要な相談支援を行いました。また、令和2年度はコロナ禍による失業、収入減少を支援するため全国規模で生活福祉資金の特例貸付が実施されました。本会においても自立相談支援機関と協力し、多くの外国人を含む町民の支援を行いました。

内 容		令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談		15件	28件	26件
貸付	生活福祉資金	19件	16件	18件
	たすけあい資金	18件	17件	25件

※新型コロナウイルス感染症特例貸付

内 容		令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談		362件		
貸付	生活福祉資金	349件		
	たすけあい資金	0件		
	コロナ学業資金貸付	1件		

エ 障がいのある人に対する相談支援

幸田町から障害者相談支援事業を受託し、障がいのある人に対する総合相談や幸田町地域総合支援協議会の専門部会の運営等を行いました。ピアカウンセリング（にじカフェ）については新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、年度途中から再開しました。また、指定相談支援事業所としてサービス等利用計画等の作成を行いました。

内 容		令和2年度	令和元年度	平成30年度
総合相談		162件	326件	311件
専門部会の開催		3回	5回	4回
にじカフェの開催		2回	12回	3回
障害福祉サービスの利用支援				
	サービス等利用計画の作成	33件	36件	28件
	障害児支援利用計画の作成	50件	33件	22件
	モニタリングの実施	244回	205回	88回

(4) 在宅福祉サービス部門

ア 見守り事業の実施

ひとり暮らし高齢者等へ最大週5回夕食時に弁当をお届けし、安否確認を行いました。また、老人クラブが実施する友愛訪問活動を支援し、要支援者の早期発見と適切な機関へつなぐ体制づくりに努めました。

内 容		令和2年度	令和元年度	平成30年度
見守り配食事業	延べ利用者数	1,488人	1,557人	1,466人
	配食数	16,533食	17,240食	15,879食
	委託事業者数	4事業所	3事業所	3事業所
友愛訪問活動	友愛訪問員数	7人	7人	7人
	訪問対象者数	27人	27人	28人
	延べ訪問回数	137回	147回	170回

イ 居宅介護支援事業所の運営

介護保険法の指定事業所として、要介護状態及び要支援状態にある高齢者等が、居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、ケアプランを作成し、サービス調整を行いました。

内 容	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ケアプラン作成数 【うち受託】	444 件 【41 件】	482 件 【44 件】	473 件 【52 件】

ウ 訪問介護事業所の運営

介護保険法及び障害者総合支援法の指定事業所として、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、身体介護、家事・生活援助及び移動支援サービスを行うホームヘルパーを派遣しました。

内 容	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ホームヘルパー派遣回数	4,762 回	5,108 回	6,765 回
介護保険サービス	2,083 回	2,195 回	2,959 回
障害福祉サービス	2,453 回	2,560 回	3,450 回
移動支援	225 回	320 回	347 回
養育支援（町受託事業）	1 回	33 回	9 回